

05 若手職員 家庭裁判所調査官補



就職先として裁判所を選んだのはなぜですか。

書籍で、悩みを抱える人と向き合い、共に悩み、解決への道筋を見出す家裁調査官の存在を知り、魅力を感じました。また、説明会に参加し、家裁調査官が日々研さんを積んで調査実務に関するスキルアップを図っていると聞き、この環境で自分も成長したいと思い、選びました。

採用試験に向けて、どのような勉強をどのようなスケジュールで取り組みましたか。

受験の約1年前から、専門書や大学の講義の内容を文章にまとめるなど、意識的にアウトプットすることで専門試験の対策をしました。また、職務内容について調べて、自分の経験を仕事でどのように生かせるかを

日頃から意識し、人物試験に備えました。

これからの目標を教えてください。

家裁調査官は、人の人生における重要な場面に関わる仕事であり、責任の重さを実感しています。これからもその責任を自覚し、日々学び続けるとともに、一人一人と誠実に向き合うことで、悩みを抱える人が前向きな一歩を踏み出せるよう支えていきたいです。



杉浦 ひなの

名古屋家庭裁判所
家庭裁判所調査官補
(R4採用 教育系の学部出身)